

PET-CT 検診

～全身のスクリーニングでがんを早期発見～

【PET-CT 検診とは…】

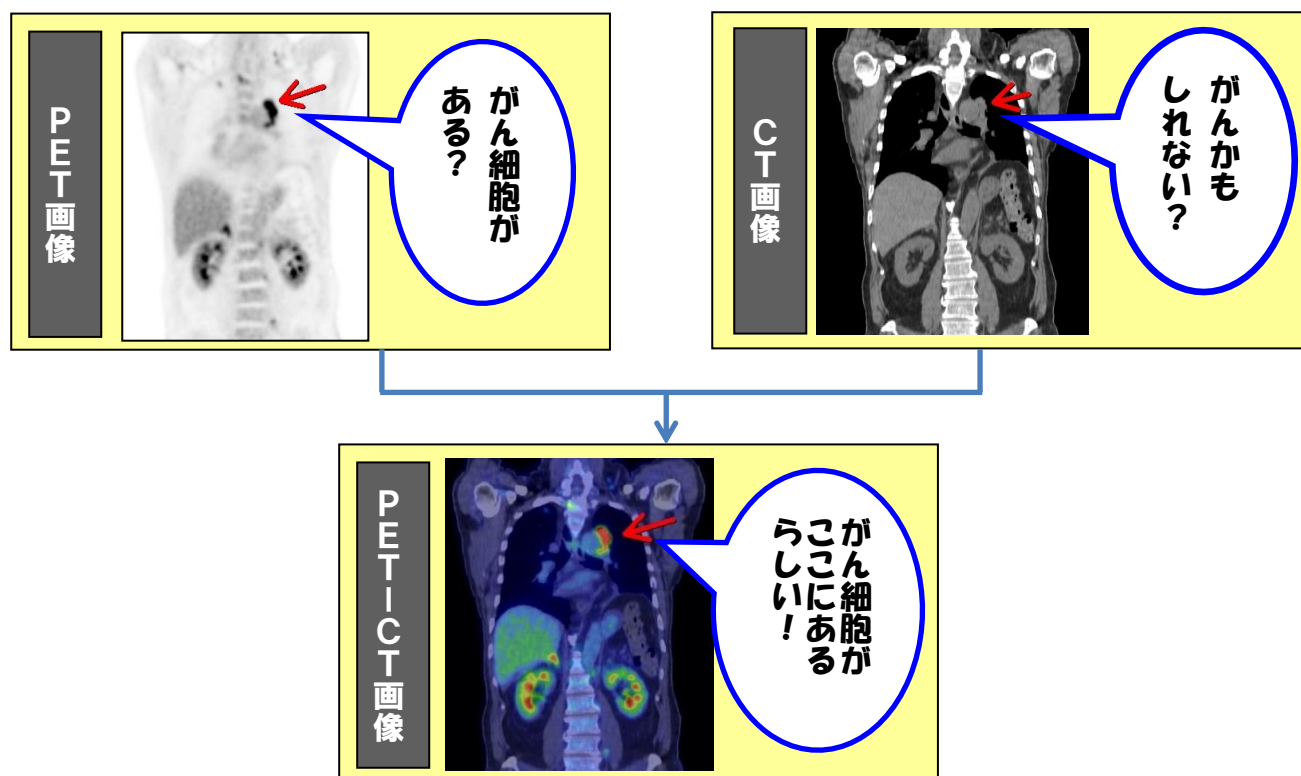
当院のPET-CT 検診はPET-CT を使用して行われる検査です。

PET-CT とは、(Positron Emission Tomography：陽電子放出断層撮影)とCT(Computed Tomography：コンピューター断層撮影)の特徴を融合させた最先端の検査です。

PET は、がん細胞が成長のために通常細胞に比べ多くのブドウ糖を消費する性質（代謝）を利用し、ブドウ糖類似物質の薬剤（FDG）を体内に投与して、その物質が多く集まる場所（分布）からがんを発見することが可能となる検査です。

PET-CT は、PET により得られた画像とCTの鮮明な画像を同時に処理することができます。これにより1 cm程度の大きさの早期のがんを発見することができ、病巣の部位を正確に把握することができます。

また、一度の検査で、ほぼ全身を調べることができるため、がんの早期発見、病期診断、転移、再発や、がんの可能性が疑われながら他の検査で病巣が発見できない原発不明がんの診断するのに特に有用な検査とされています。



なお、この検査でもすべてのがんが発見できるわけではありません。特定の臓器、部位によっては発見が困難な場合があります。

【発見されやすいがん】

肺がん・乳がん・大腸がん・卵巣がん・子宮体がん・悪性リンパ腫

【発見されにくいがん】

胃がん・子宮頸がん・前立腺がん・腎がん・膀胱がん

※ブドウ糖類似物質が集積する傾向を利用した検査のため、もともと血糖値が高い方は、正しい結果が得られにくい場合があります。

【PET-CT 検診を受けるには…】

PET-CT 検診は「完全予約制」となっております。

希望日の10日前までに下記まで電話にてお申込み願います。

予約窓口 ： 電話(代表) 0134-25-1211 内線(3700,3708)

《担当》けんしんセンター

予約受付時間： 月曜日～金曜日（午前9時～午後5時）

PET-CT 検診料金 75,600 円 （ 消費税 5,600円 ）

【PET-CT 検診 Q&A】

Q：検査前日に注意しなければならないことは？

A：・検査前日と検査当日は激しい運動や肉体労働は控えてください。

激しい運動により筋肉に炎症が起こる(筋肉痛など)と、その部分の糖代謝が活発になり、FDG を集めてしまいます。

→ 結果、FDG が病気に集まる割合が少なくなり、診断が困難になってしまいます。

- ・糖分を含む飲料（ジュース、スポーツ飲料、コーヒー、紅茶など）、飴、ガムなどもとらないでください。

糖分の含まれていない飲み物（水、お茶）は飲んでもかまいません。

Q：検査当日に注意しなければならないことは？

A：・検査予約時間の6時間前から食事はとらないでください。

FDG を注射するタイミングが、「食後すぐ」の場合、血糖値の上昇により、FDG が全身の筋肉への行きわたってしまい、その結果がん細胞への集積が不明瞭になり、病巣を見つけることが困難になってしまいます。より良い検査画像を撮るためには「5 時間以上の絶食」は重要な条件です。

- ・検査終了後、24 時間は、FDG に含まれる微量の放射能が体内に残っているため、乳児、妊産婦との接触は避けてください。
- ・検査に使用する FDG は、余った分などが主に尿とともに排出されますので、トイレに行った後は、十分な手洗いを心がけてください。

Q：薬の服用について注意しなければならないことは？

A：・お薬は、検査前日までは通常通りの服用で構いません。

糖尿病の薬を使用されている方は、検査当日の糖尿病の薬（内服・インシュリン）は使用せずにお持ちください。糖尿病以外のお薬は内服いただいてもかまいません。

貼り薬については、検査時に外していただきますので、継続して貼られる方は、貼り直す分を別途ご用意ください。

Q：急に検査が受けられなくなったときはどうしたらいいですか？

A：検査前日の午後3時まで、下記へご連絡ください。

（検査が月曜日の場合は、前の週の金曜日午後3時まで。）

連絡先：小樽市立病院 核医学検査室 （平日午前9時～午後5時） ☎0134-25-1211

※PET 検査には使用期限が非常に短い特殊な薬剤を使用しており、受診者に合わせて注文をしていますので、急なキャンセルや、検査時間に遅れることがあると、薬剤を使用することができなくなります。
場合によってはキャンセル料をいただくことがあります。

【PET-CT 検診の流れ】

★PET-CT の検査時間そのものは、20～30分程度ですが、前後の準備や来院されてから会計が終了するまでの所要時間は2時間半程度です。

